

特別展

了々齋二百年忌記念



紀州徳川家 との絆

—了々齋ゆかりの茶道具展—

令和7年10月4日(土) — 12月14日(日)

表千家北山会館



表千家九代家元の了々斎宗左（一七五〇～一八二五）は、久田宗溪の長男に生まれ、八代家元啜啄斎の養子となって家元を継承しました。茶の湯が広く浸透していた江戸時代後期の文化・文政期（一八〇四～三〇）を中心に家元としての活動が展開されます。了々斎は、「数寄の殿様」と呼ばれた紀州徳川家十代治宝公と深く交わり、治宝公の表千家家元への御成りも迎えています。その後、拝領した武家門が、現在の表千家の表門です。また、了々斎は今日に見られる茶事や点前のかたちをおおよそ整えた家元でもあります。

昨年、了々斎の二百年忌を迎えました。本展では了々斎の生涯と茶の湯について、茶堂として出仕した紀州徳川家との関わりを中心にその業績を訪ねます。表千家不審菴に伝来する茶道具、古文書あわせて約80点の道具が展観されます。

休館日 月曜日（祝日は開館し翌日休館）ただし11月25日〔火〕は開館
開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）

〔入館料〕

一般 1,800円（1,600円）／表千家同門会員 1,400円（会員割引）
大学生 1,600円（1,400円）／高校生 700円／中学生以下無料
※一般と大学生の（ ）は20名以上の団体割引料金です。
※入館料には呈茶を含みます。

主催 表千家北山会館／後援 京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都市内博物館施設連絡協議会・NHK京都放送局・京都商工会議所・京都新聞・読売新聞社



了々斎手造 赤茶碗
亀御画 徳川治宝筆



了々斎好 唐銅末広水指

特別展 了々斎二百年忌記念 紀州徳川家との絆——了々斎ゆかりの茶道具展——

◎主な展示道具

了々斎筆 徳川治宝公御成記
了々斎画像 不識斎宗完画 剛堂宗健賛
了々斎筆 富士画賛
了々斎好 末広香合
了々斎好 唐銅末広水指
了々斎好 溢梅蒔絵棗
了々斎手造 赤茶碗 亀御画 徳川治宝筆 治宝より拝領
了々斎所持 錐異器茶碗 啜啄斎銘小手巻
了々斎作茶杓 共筒 銘山鳥
【特別展示】 利休所持 天目・天目台
展示期間 11月13日～26日

〈表面図版〉

上段右 了々斎好 溢梅蒔絵棗
上段左 了々斎好 華竹三日月香合
上段背景 了々斎筆 徳川治宝公御成記
下段 表千家表門

Instagram



表千家北山会館

〒603-8054 京都市北区上賀茂桜井町61番地
TEL 075-724-8000 <https://www.kitayamakaikan.jp>
交通＝駐車場23台有り／地下鉄烏丸線国際会館行「北山駅」下車、4番出口を西へ徒歩約5分 ＊北山通、植物園北側

〔会期中の催し〕

茶の湯文化にふれる市民講座
・10月26日〔日〕
「了々斎の時代」
渡辺潤氏（家元教授、表千家同門会理事）
来館、オンラインいずれでも受講可
・12月6日〔土〕
「二子相伝、炎で紡ぐ樂家の茶碗」
樂吉左衛門氏（千家十職 茶碗師）
来館受講限定

組立式小間での茶席

・11月5日〔水〕一席約60分の特別体験茶席
・11月29日〔土〕一席約30分の茶席＋約30分のミニ展示解説
家元内弟子によるギャラリートーク
10月18日〔土〕、12月9日〔火〕

※各催しの詳細は表千家北山会館ホームページをご覧ください。

特別映像上映のご案内

「徳川治宝と了々斎」
徳川治宝公と了々斎の事績と人となりをはじめ、家元に伝来する道具と史料により、茶の湯を通じた治宝公と了々斎の絆を紹介いたします。会期中、館内にて上映いたしますので、特別展の展示とあわせてぜひご覧ください。

※11月28日〔金〕は上映がございません。